

シングル混合栓(センサー式)

..... EK870AE-13
 EK870AE-D7N-13
 (寒冷地用..... EK870AEK-13)

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
 なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称・寸法図..... 1~2

施工について

施工に関する安全上のご注意..... 3~5
 適切な使用条件 5
 施工前のご注意 5
 梱包明細 6
 施工手順 7~12

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意 13~16
 使い方 17~18

凍結予防について

一般用の場合 19
 寒冷地用の場合(水抜方法)..... 19

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り 20
 センサー部の掃除 20
 ストレーナパッキン・
 吐水口の掃除 21

定期的な点検・部品交換

可動部分の点検 22
 配管周りの水漏れ・器具の
 ガタツキ・ホコリの除去 22
 シャワーホース・逆止弁の
 交換時期 22

こんなときは

停電時の措置 22
 故障? その前に 23
 本製品の構造 24

その他

仕様 25

保証とアフターサービス

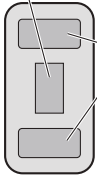
保証とアフターサービス 26
 保証書 裏紙

本製品について 各部の名称・寸法図

各部の名称

上センサー(P17)

- ・水栓に触れずに水の出し止めができます。
- ・水を出し続けたい時に使用します。



サーモランプ(P17~18)

- ・吐水温度を光の色で表示します。
- ・高温吐水時の危険表示等のアラーム表示にもなります。
- ・待ち受け時は、ふんわり点滅します。

吐水口本体
(センサー内蔵スパウト)

エコセンサー
ON/OFFボタン

シャワーヘッド(P17)
ボタンにより整流吐水・
シャワー吐水に切替が
出来ます。

レバー

CN1差込口：
制御ケーブル
コネクター

CN2差込口：
電磁弁ケーブル
コネクター

DC6V差込口：
ACアダプター
コネクター

エコセンサー
切替スイッチ
(P18)

エコセンサーの感度
を下げるできます。

【出荷時：ON】

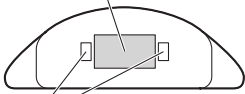
待受点滅切替スイッチ
(P18)

待ち受け時の点滅機能を
停止することができます。

【出荷時：ON】

エコセンサー(P17)

- ・センサーが手などを感知している間のみ吐水します。
- ・出し止め操作が不要で、簡単に節水できます。



トップライト(P17)

- ・吐水時に手元を明るく照らします。

寒冷地用

水抜き操作用
ハンドル

水抜き
ジョイント

湯側:接続金具 (逆止弁あり) 水側:接続金具 (逆止弁なし)

電磁弁

シャワーホース

フレキホース
(給湯側)

電源ボックス

電磁弁ケーブル

制御ケーブル

接続金具
(逆止弁あり)

(止水栓)

フレキホース
(給水側)

ACアダプター

※仕様により、ACアダプターの
デザインが異なる場合があります。

●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

●エコセンサー【無意識に節水】

- ・センサーが手などを感知している間のみ吐水します。
- ・出し止め操作が不要で簡単に節水できます。
- ・上センサー操作による吐水中の場合、エコセンサーは無効となります。
- ・感知距離は約50mm～約150mmです。(赤外線を用いた距離センサーを採用)
- ・安全のため、50℃以上のお湯が出ない設定になっています。
(50℃以上を検知した場合は、強制的に止水し、サーモランプが赤色(LED)点滅します。)
- ・エコセンサーでの吐水が1分間続くと、自動的に止水し、サーモランプが黄色(LED)点滅します。
検知物などをセンサー感知範囲から移動し、再び差し出すと、再吐水できます。

●上センサー【連続吐水時に活用】

- ・手をかざすと、水の出し止めができます。
水栓に触れずに操作できるので衛生的です。
- ・感知距離は、約20mm～約50mmです。(赤外線を用いた距離センサーを採用)
- ・出しっぱなし防止のため、吐水から5分間続くと、自動的に止水します。

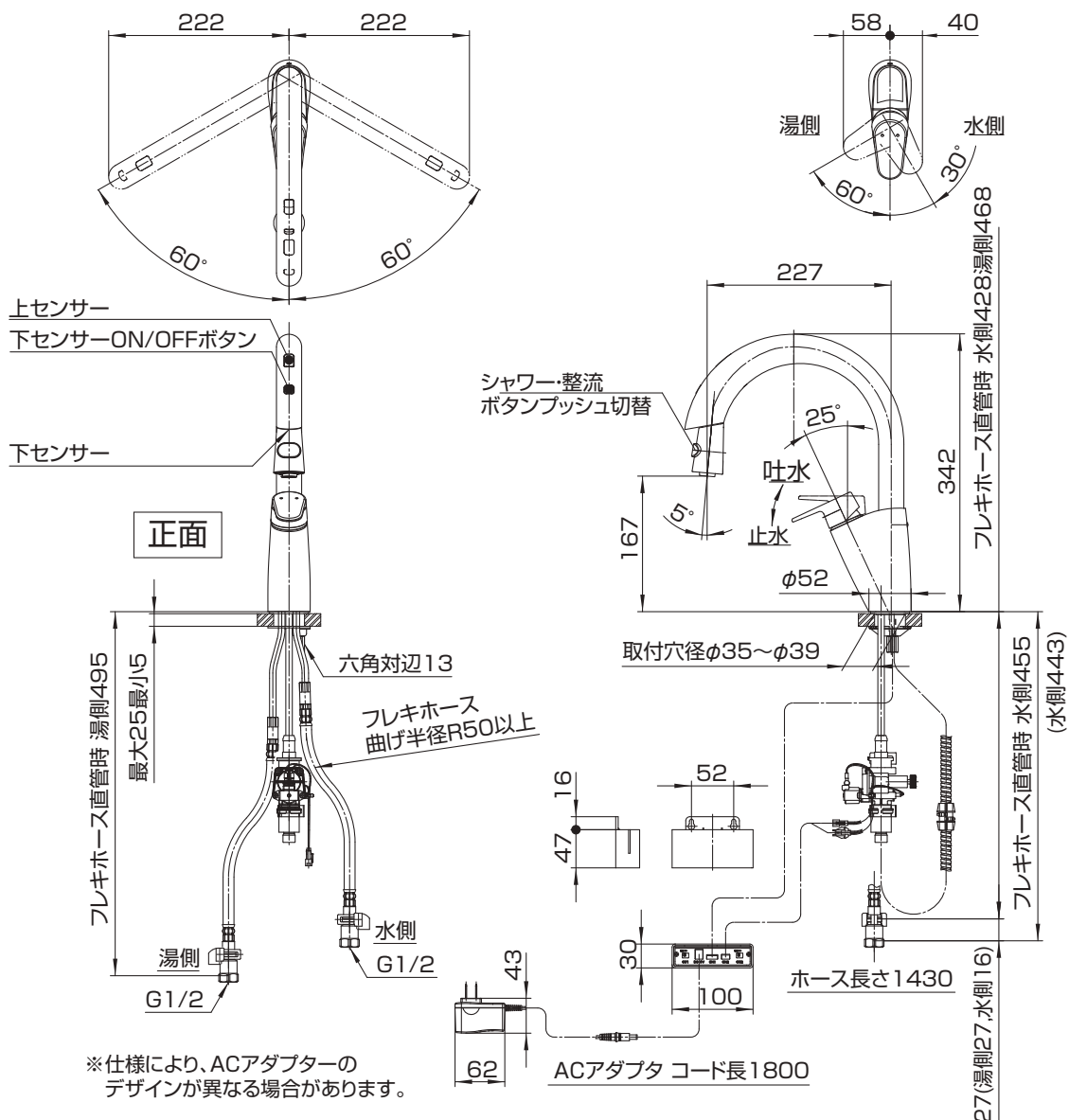
●トップライト【LED照明】

吐水時に手元を明るく照らします。

寸法図

()内は、寒冷地用の寸法

●仕様により、寸法が異なる場合があります。



施工について


施工に関する安全上のご注意


- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。


用語および記号の説明

警告 …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」


注意 …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」


 …………… 「注意しなさい！」（上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）


 「してはいけません！」
（一般的な禁止記号です。）

 「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」


 「分解してはいけません！」


 「濡れた手でさわってはいけません！」


 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

 「指示通りにしなさい！」
（一般的な行動指示記号です。）

警告

 コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。
故障や感電の原因になります。


 製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

 浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
故障や感電の原因になります。

 電源は交流100V以外は使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

 コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。
火災の原因になります。

 ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
火災や感電の原因になります。

 雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。
感電の原因になります。

 電源コードをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差し込んでください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



ストレーナパッキンの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



湯水は逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをすることがあります。



給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
60℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意



(一般用の場合)
屋外や凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。



(寒冷地用の場合)
凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の場合(水抜方法)」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。また、屋外には取付けないでください。
部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 参照:P19



(寒冷地用の場合)
水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。
誤作動の原因になります。



直射日光の当たる場所には設置しないでください。
誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

⚠️ 注意

誤検知の原因になるため、下記条件で施工してください。

【ステンレスシンクの場合】シンク面から200mm以上650mm以内の位置に取付けてください。

※No.4仕上げ以上のステンレスシンクへ設置しないでください。
(詳細は、ステンレス協会HP「ステンレスの主な表面仕上げ」参照)

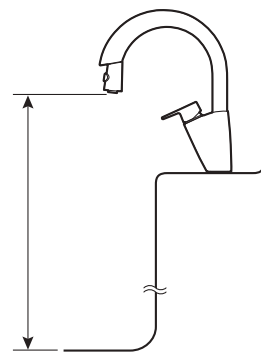
【うすい色のシンクの場合】シンク面から200mm以上550mm以内の位置に取付けてください。

【濃い色のシンクの場合】シンク面から200mm以上500mm以内の位置に取付けてください。

【黒色のシンクの場合】ご使用できません。

【センサー検知窓の真下付近に鏡面に近い光沢の排水口などがある場合】シンク面から300mm以上500mm以内の位置に取付けてください。

※センサーを鏡面のものに向けて使用しないでください。



施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	60℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50~60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側でたおしていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

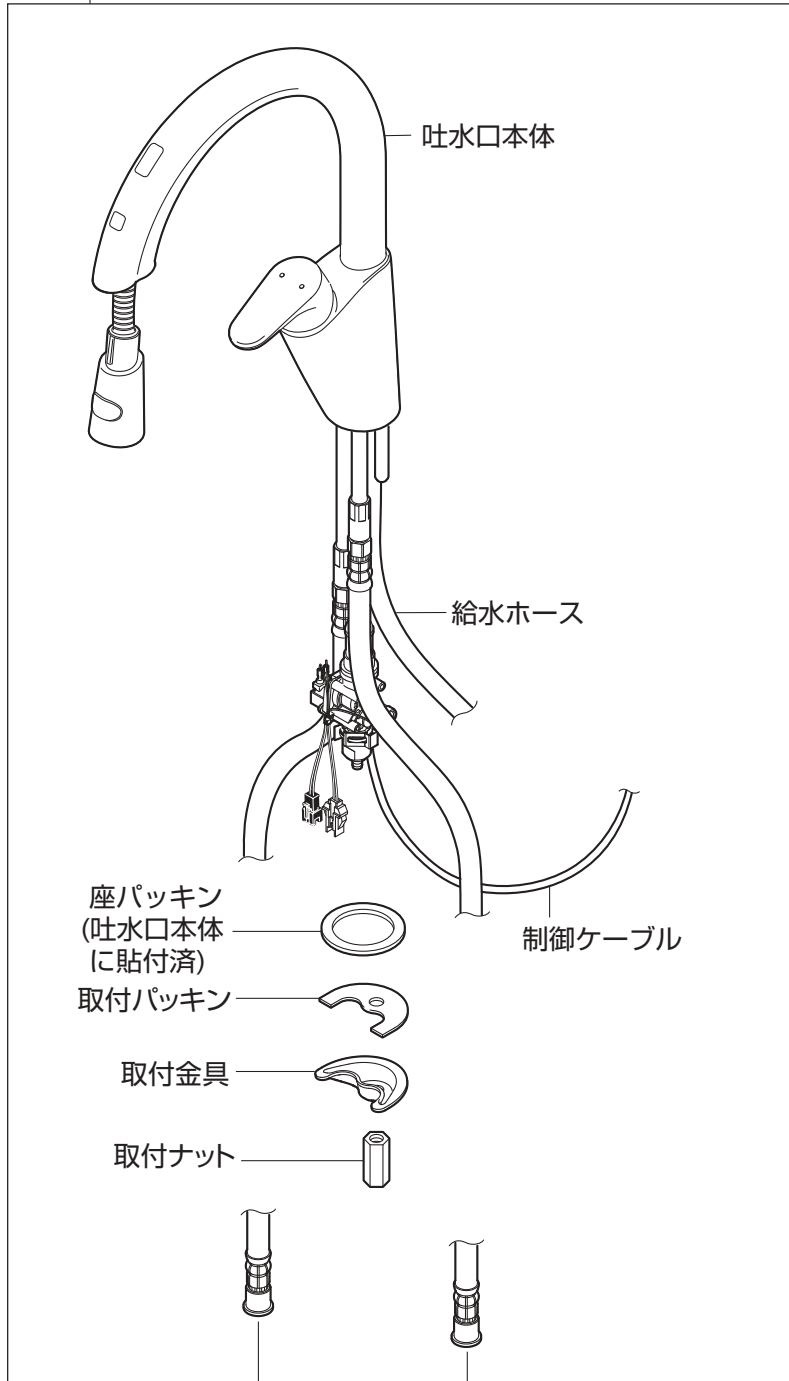
施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

吐水口本体 ×1



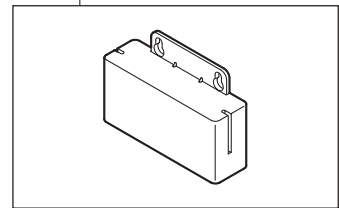
フック ×2



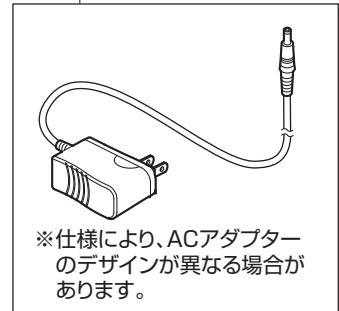
止めねじ ×2



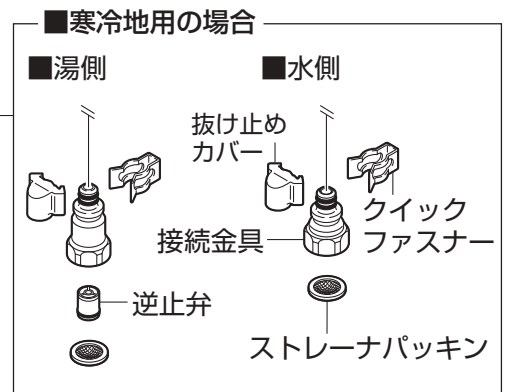
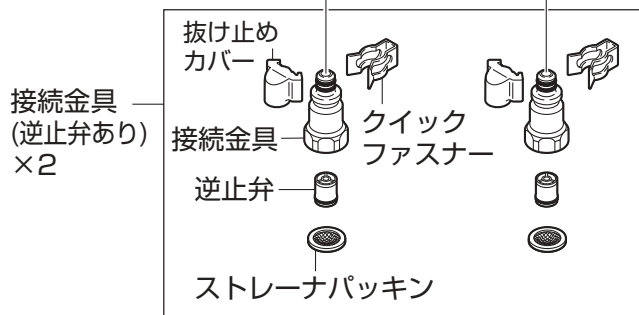
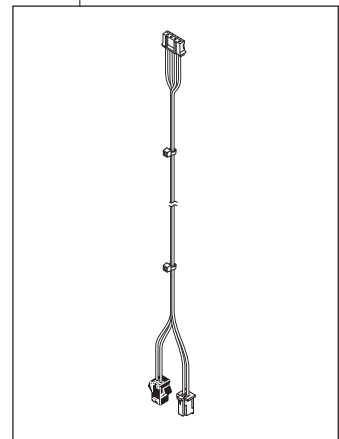
電源ボックス ×1



ACアダプター ×1



電磁弁ケーブル ×1



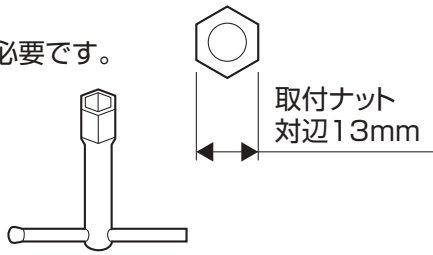
●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

■ ナット締付工具：

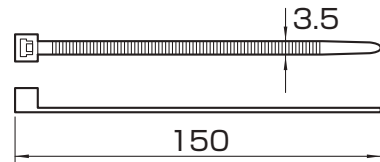
取付ナットを回す時に必要です。

ナット締付工具
SANEI品番：
R353
(ナット締付工具)



■ 結束バンド：

出荷時に取付けている結束バンドをはずす場合、再取付時に必要です。



■ スパナ・モンキーレンチ など：

水栓のナットが回せる工具。



■ 手袋：

ケガ防止のため
に着用してくだ
さい。



■ 使い古しのハブラシなど：

取付穴周囲などの
掃除ができるもの。



■ タオルなど：

ケガ防止や水栓
保護のために使
用します。



■ ぞうきんなど：

配管中の残り水
を拭くのに使用
します。



1 配管内の掃除をします。

注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の開閉はP23を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。

2 吐水口本体を取付けます。

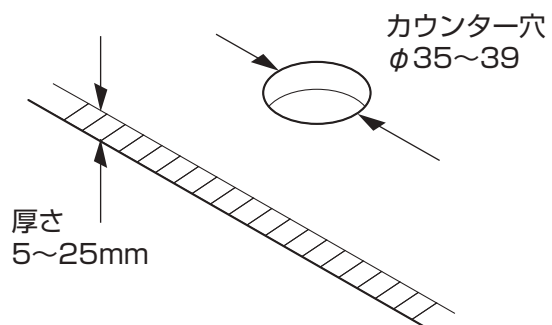
⚠ 注意

- センサー部やコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめシンクの内部をきれいに拭いてください。
- 本製品のセンサーが正確にシンクを感知できるよう、極端に斜めに向けて取付けしないでください。

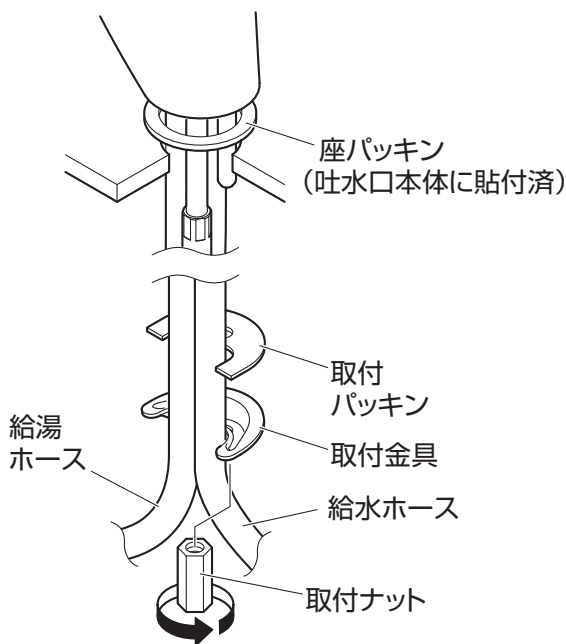
(1) カウンター穴の寸法を確認してください。

⚠ 注意

カウンターに厚みのない場合や、
取付面が弱い場合は補強材など
を設けてください。

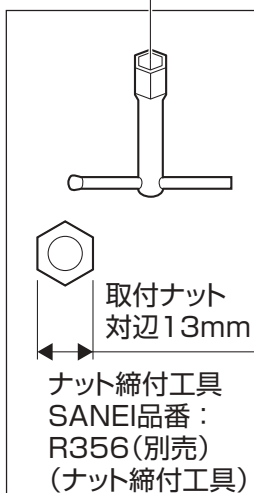
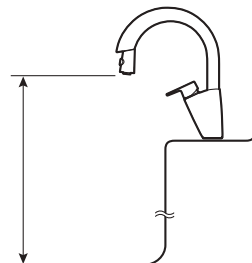


(2) 取付場所のスペースを確認してから、吐水口本体が正面を向くように、締付工具で固定してください。



取付場所のスペースを確認してください。シンクの種類や色などにより施工条件が異なります。

詳細は P5 を参照してください。



注意

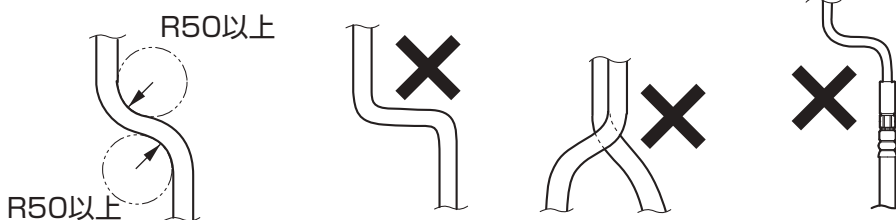
- 取付時にレバーなど可動部分を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- シャワーホースの出し入れに影響しないように施工して下さい。

注意

銅管・ホース施工上の注意点

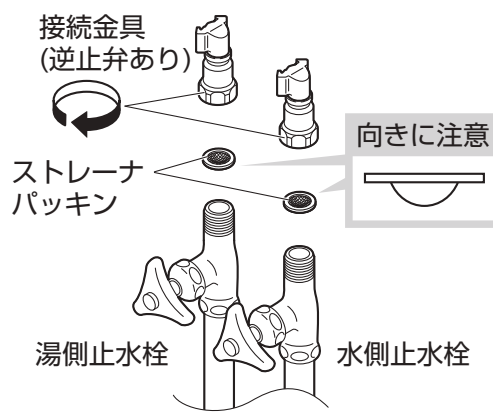
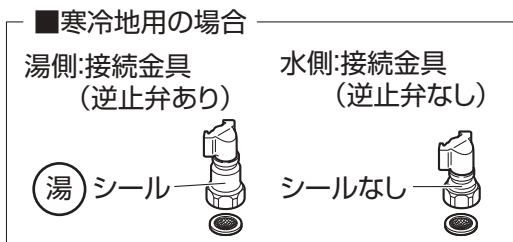
※下記注意事項は必ず守ってください。
銅管・ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。

- 銅管部分は曲げないでください。
- ホースの最小曲げ半径は50mmです。ホースを極端に屈曲しないでください。
- ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。摩擦による外傷でホースの性能劣化の可能性があります。



3 接続金具(逆止弁あり) (寒冷地用水側は接続金具(逆止弁なし)) を取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから接続金具(逆止弁あり)を止水栓などに固定してください。

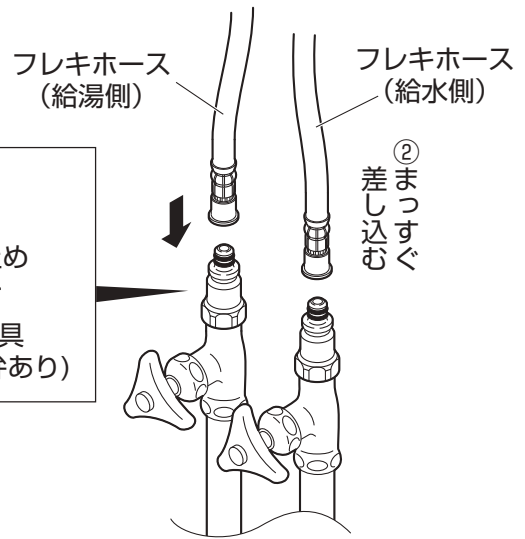


注意

- ストレーナパッキンが入っていることを確認してください。ストレーナパッキンが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。
- 寒冷地用の場合は、必ず湯側に接続金具(逆止弁あり)を使用してください。

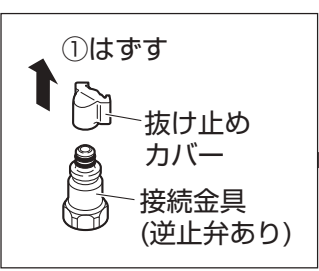
4 接続金具(逆止弁あり) (寒冷地用水側は接続金具(逆止弁なし)) と給水・給湯ホースを接続します。

(1) 接続金具(逆止弁あり)の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースと接続金具(逆止弁あり)のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。

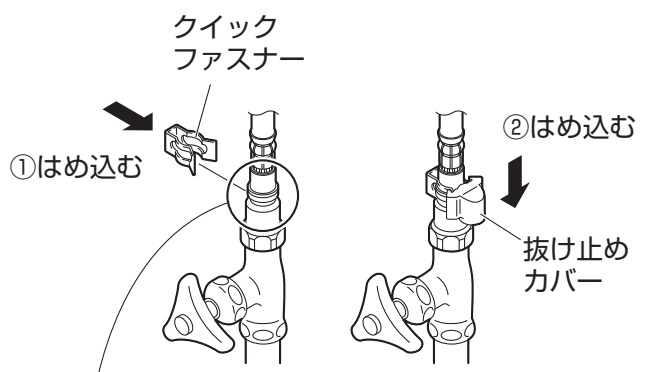


注意

- 接続金具(逆止弁あり)のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

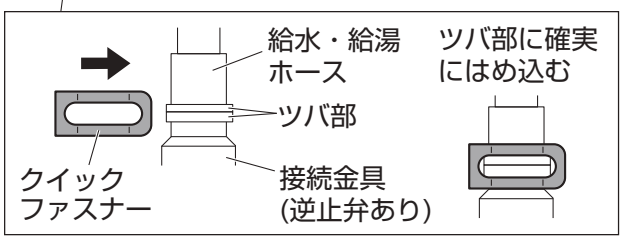


(2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと接続金具(逆止弁あり)のツバ部に確実にはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。



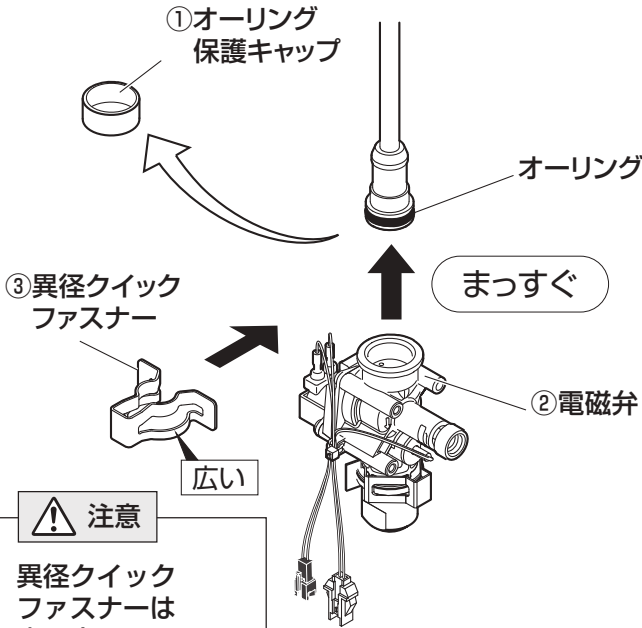
注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。



5 電磁弁を接続します。

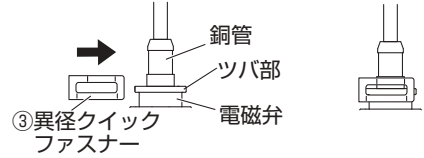
- ① オーリング保護キャップを外してください。
- ② 銅管にまっすぐ電磁弁を差し込んでください。
- ③ 異径クイックファスナーを取付けてください。



注意
異径クイックファスナーは広い方を下にして取付けてください。

注意

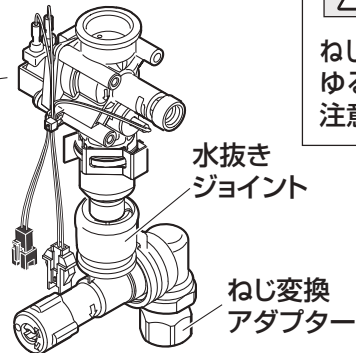
- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。



寒冷地用

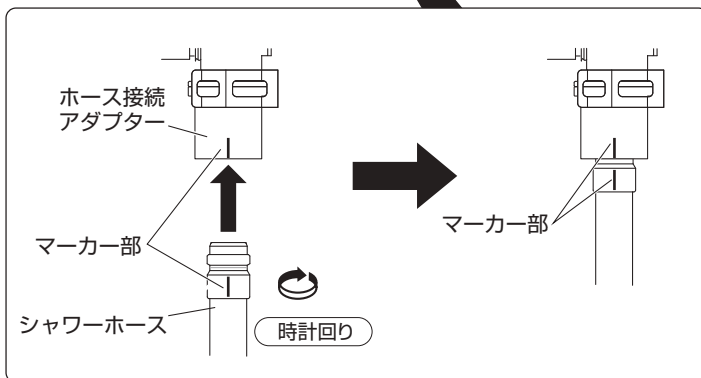
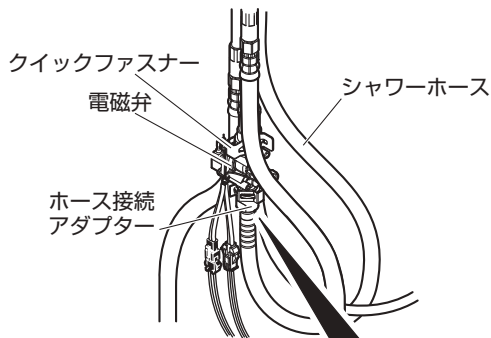
注意

ねじ変換アダプターをゆるめないよう注意してください。



6 シャワーホースを接続します。

ホース接続アダプター（寒冷地用は水抜きジョイント）にマーカ一部までホースを時計回りに回しながら取付けてください。



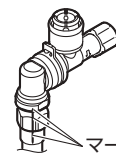
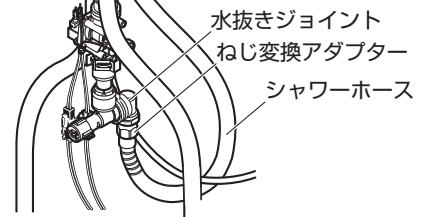
注意

シャワーホースが確実に接続されていることを確認してください。

寒冷地用

注意

シャワーホース接続時にねじ変換アダプターをゆるめないよう注意してください。



寒冷地用も同様にホースを締め込んでマーカ一部をあわせてください。

注意

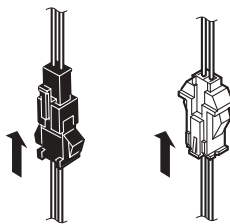
電磁弁からはずした場合はカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

6 コード類を接続します。

- (1) 電磁弁ケーブルの黒色・白色コネクタを、電磁弁の黒色・白色コネクタにそれぞれ接続してください。

⚠ 注意

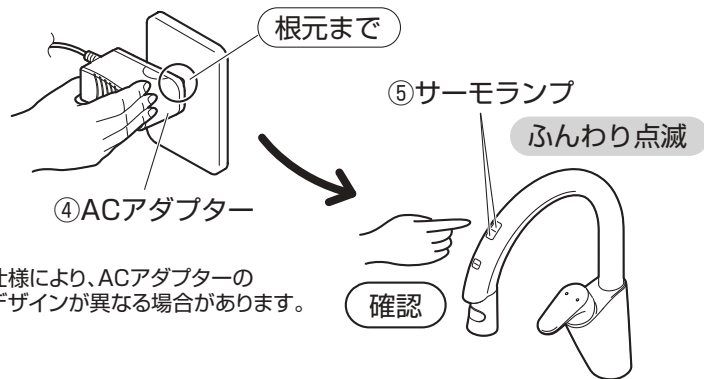
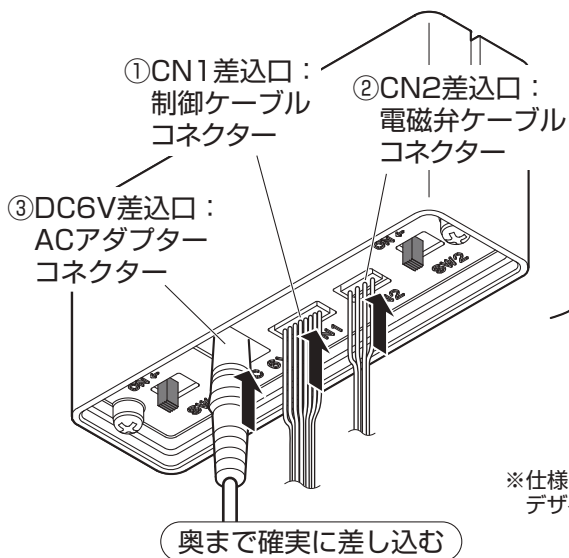
黒色・白色コネクタは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



- (2) ①制御ケーブル、②電磁弁ケーブル、③ACアダプターの順にケーブルを差し込んだ後、④ACアダプターをコンセントに差し込み、⑤サーモランプがふんわり点滅していることを確認してください。

⚠ 注意

ケーブルはコネクタの奥まで確実に差し込んでください。



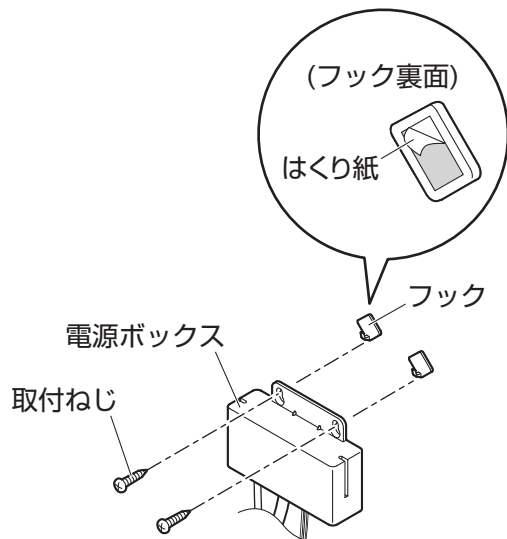
※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

- (3) 電源ボックスをフック(2個)または取付ねじ(2本)で、電磁弁よりも高い位置になるように取付けてください。
電源コードは、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。

⚠ 注意

- 電源ボックスは、結露した水で濡れないように、電磁弁よりも高い位置になるように取付けてください。
- 電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。

- コード類が扉や引き出しなどに挟まらないように注意してください。
コード類が浮いていると、扉や引き出しの開閉時にコードが挟まり、コードの断線や故障の原因となります。
- 湯側止水栓やその周辺には、コード類が触れないように注意してください。
給湯側のため高温になっており、劣化の原因になります。
- フックを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。
汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因になります。
- フックは、何度も取りはずさないでください。
取付面の強度が落ち、落下の原因になります。

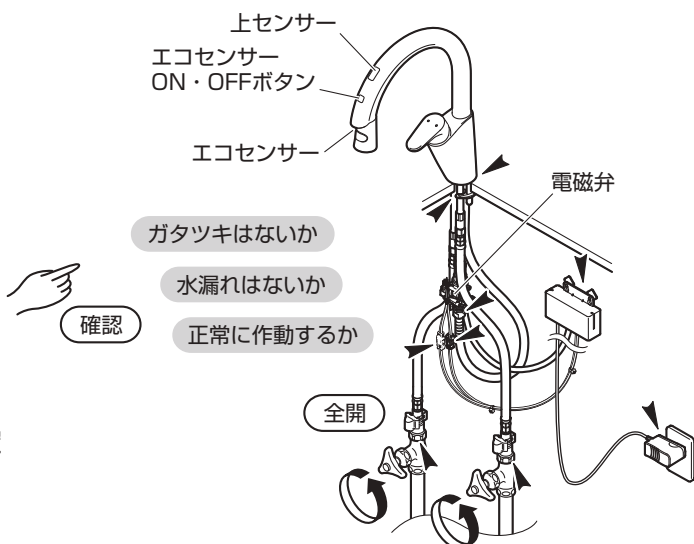


7 ガタツキ・水漏れ・動作チェックと吐水状態の確認をします。

【ガタツキ・水漏れ・動作チェック】

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。
ガタツキの確認後、止水栓を全開にし、上センサーに手をかざして吐水させ、各部に水漏れがないか必ず確認してください。上センサーおよびエコセンサーに手をかざして吐水・止水を行い、センサーが正常に作動することを確認してください。参照：P17～18

- ※ ガタツキ・水漏れがある場合は、もう一度施工をやり直してください。
- ※ 正常に作動しない場合は、コネクターが確実に接続されているか確認してください。
- ※ ホース引き出し時にコード類が引っ掛からないか確認してください。



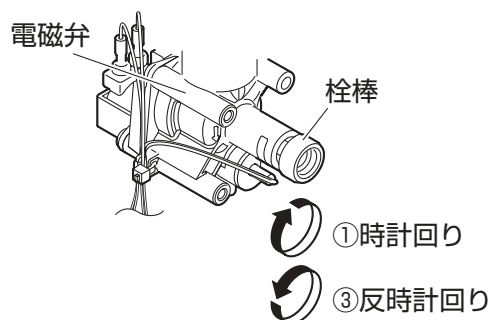
※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

【吐水状態の確認】

上センサーに手をかざして吐水・止水させ、吐水状態が正常であることを確認してください。吐水状態に乱れがあったり、吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)がある場合は、以下の手順で電磁弁部のエア抜きを実施してください。

【エア抜き手順】

- ① 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ② 30秒程度連続吐水させます。
※止水栓が開いていれば、センサー操作をしなくても吐水します。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ 上センサーに手をかざし、吐水および止水させ、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)が無いことが確認できれば完了です。



8 流量の調節をします。

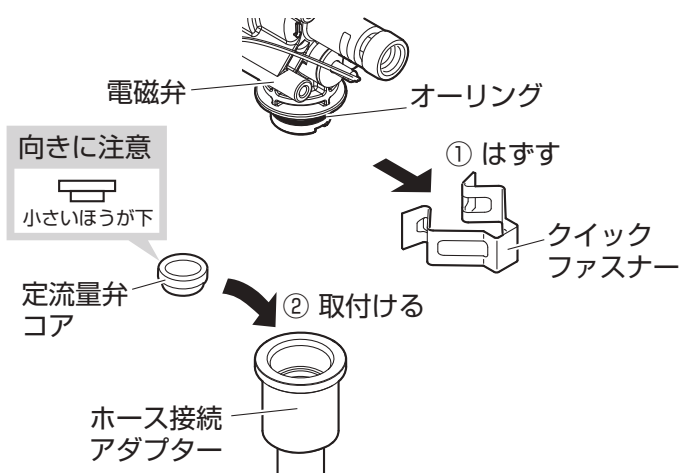
取付現場の圧力などの条件により流量が多いと感じられる場合やシャワーヘッドの切替ができない場合は、同梱の定流量弁を取付けて流量を調節してください。

- ① 止水栓や元栓などを閉じ、止水します。
- ② ホース接続アダプターと電磁弁を固定しているクイックファスナーを外します。
※結束バンドはニッパーなどで切断し、再接続時は新たな結束バンドをご準備ください。参照：P7
- ③ ホース接続アダプター内に定流量弁コアを取付けます。
- ④ 逆の手順にて部品を組付け、クイックファスナーを新しい結束バンドで固定してください。
- ⑤ 止水栓で流量を調節してください。



注意

- 流量が約11L/minを超えると、切替ボタンが押せない、あるいは押せたとしても切替できません。



※ 電磁弁に付いているオーリングは、はずさないでください。オーリングが入っていないと、水漏れの原因になります。

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



…「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)



「してはいけません!」
(一般的な禁止記号です。)



「濡れた手で触れてはいけません!」



「指示通りにしなさい!」
(一般的な行動指示記号です。)



「分解してはいけません!」



「水や液体をかけたり、
浸けてはいけません!」



「電源プラグをコンセントから
抜きなさい!」



「指示した場所に触れてはいけません!」



「バスルームやシャワールームなどの水場で
使用してはいけません!」

警告



本製品は、日本国内のキッチン用です。
それ以外の条件下では使用しないでください。

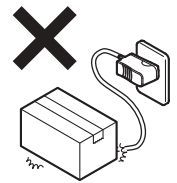
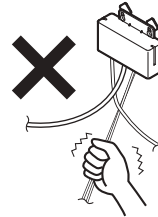


ACアダプターおよびコード類が破損するようなことをしないでください。

【してはいけない例】

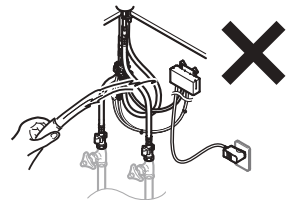
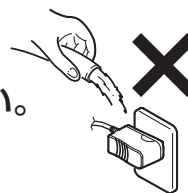
- 傷つける ●加工する ●無理に曲げる ●ねじる
- 引っ張る ●重いものを載せる ●挟み込む ●加熱する

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



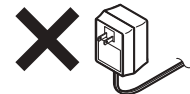
ACアダプターや電源ボックス・電磁弁・
コード類に水や洗剤、汚水をかけないでください。

火災や感電の原因になります。



ACアダプターは、同梱以外のものを使用しないでください。

火災や感電の原因になります。



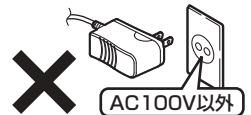
ガタついているコンセントは使用しないでください。

火災や感電の原因になります。



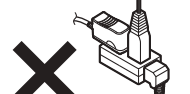
指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。

火災の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。

火災の原因になります。



電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。

火災や感電の原因になります。



ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。

感電の原因になります。

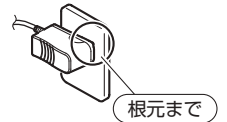


警告



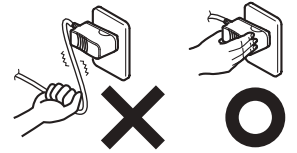
ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。

火災や感電の原因になります。



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

火災や感電の原因になります。



雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。

感電の原因になります。



ACアダプターについてのホコリは、取除いてください。

ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。



浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。

火災や感電、故障の原因になります。

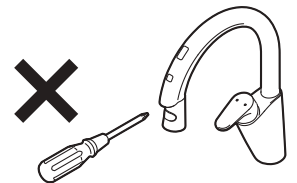


●絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

火災や感電の原因になります。

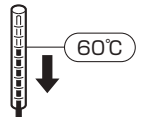
●この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。

故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



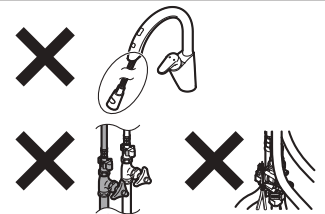
給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。

高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。また、60℃より高温ご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。



高温でご使用中のシャワーホースや湯側配管、電磁弁周辺に、直接肌を触れないでください。

高温になっており、やけどをするおそれがあります。



湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめてください。

高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



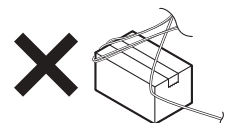
レバーの温度位置を確かめて吐水してください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



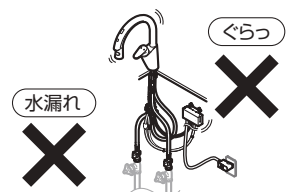
収納物などを収納する際は、コード類に引っ掛からないように注意してください。

コードが断線し、感電・故障の原因となります。



定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

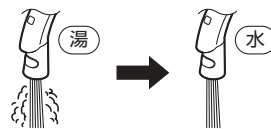


警告

❗ 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



❗ 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



❗ 高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



❗ 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

注意

⊘ 製品に強い力や衝撃を与えないでください。

【してはいけない例】

●固いものをぶつける ●重いものを載せる ●過度な体重をかける・もたれる
故障や漏水の原因になります。



⊘ 樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす

メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。
万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】

・シャワーヘッド

⊘ メッキ面がはがれた場合、放置しないでください。

メッキ面がはがれた部分でケガをするおそれがあります。

⊘ 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。

変形、破損および吐水口本体の固定がゆるむおそれがあります。

⊘ (一般用の場合)
凍結が予想される場所では使用しないでください。

部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。



❗ (寒冷地用の場合)
凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。

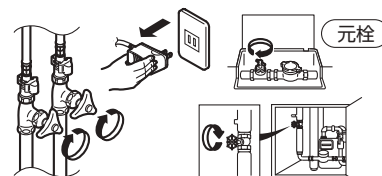
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⊘ (寒冷地用の場合)
水抜き部は水抜き以外の目的で開けないでください。

水抜き部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、
家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⊘ 長期間使用しない時は、止水栓または配管部の元栓を
閉め、ACアダプターを抜いてください。

誤作動や故障などによる予想しない事故の原因になります。

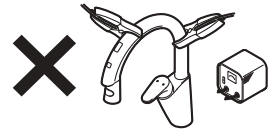


⚠️注意



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



朝一番の使い始めの水は飲まずに別の用途にお使いください。

しばらく使われないと、ホース内の水は消毒用の塩素がなくなってしまい、におうことがあります。

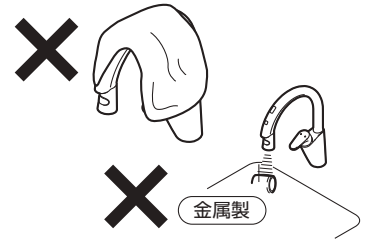


●センサー感知窓の上を覆わないでください。

誤作動の原因となります。

●シンクの中に障害物を置かないでください。

誤作動の原因となります。特に、金属製のもの(コップ、スプーン、皿、ボウルなど)を置いた場合は、感知距離範囲外であっても誤作動を引き起こすおそれがありますので、ご注意ください。



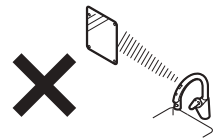
直射日光の当たる場所で使用しないでください。

誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。

誤作動の原因になります。



使用する時は、吐水口をふさがないでください。

シンク下への漏水の原因となります。



日頃から、ときどき吐水口を回してください。

吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、配管に負荷が掛かり水漏れの原因になります。



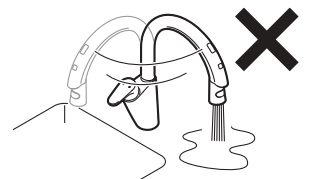
日頃から、ときどき切替ボタンを押してください。

切替ボタンを長期間押さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に押そうとすると、水漏れの原因になります。



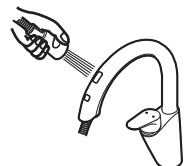
吐水口を回しすぎないでください。

シンクの外への水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。シンク外で動作しないよう、安全のため、使用後はエコセンサーON/OFFボタンを押してエコセンサーをOFFにしてください。



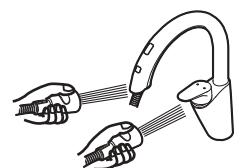
センサーに直接水をかけないでください。

誤作動や故障の原因になります。水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーホース引き出し口やレバー周辺に直接水をかけないでください。

水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



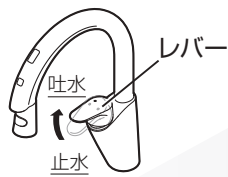
レバーは、ゆっくり動かしてください。

レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ご使用について 使い方

レバーが上がっていることを確認してください。



手を近づけると水が出ます



- 手を離すと、止まります。
- 対象物の色の濃度や形によっては検知しにくいことがあります。

■水を出したままにしたいとき

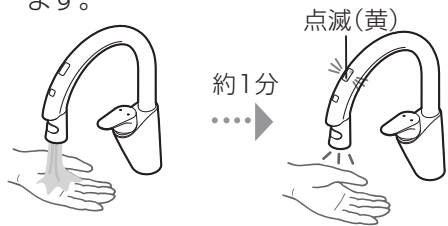
手をかざすと、水が出ます



- 再度手をかざすと止水します。
- 操作をしなくても5分間で止水します。

水は、約1分たつと、自動で止まります (出しっぱなしを防ぐため)

- 下から手を近づけて水を出したときも、手を離さなくても約1分で水が止まります。



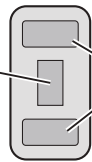
→いったん手を離してから再度近づけると、また水が出ます。

50℃以上のお湯は出ません

安全のため、50℃以上のお湯は出ないように設定されています。(エコセンサー使用の場合のみ)



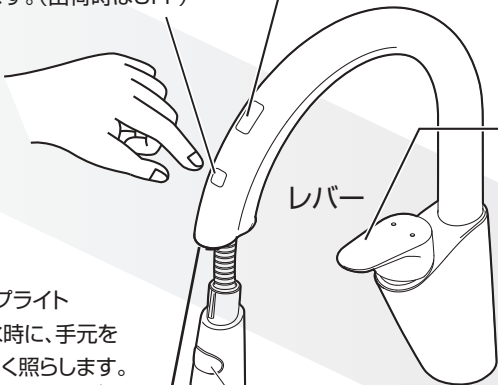
上センサー
手などを感知すると水が出て、再度感知すると止まります。



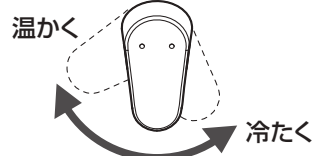
サーモランプ(P18)
待ち受け中はふんわり点滅し、吐水中は早く点滅します。
●吐水温度の目安を色でお知らせします。
●上センサーで吐水している時は上側、下センサーで吐水している時は下側が光ります。

エコセンサーON/OFFボタン
エコセンサーの機能をON/OFFします。(出荷時はOFF)

トップライト
吐水時に、手元を明るく照らします。



温度を調節できます



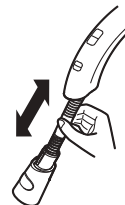
シャワーヘッドで整流吐水・シャワー吐水に切替ができます。

整流吐水 切替ボタン シャワー吐水
押して離す



シャワーヘッドは出し入れ可能です。

出し入れしにくい場合は、シャワーホースに手を添えて操作してください。



エコセンサーOFFのポイント

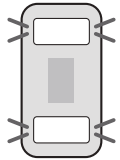
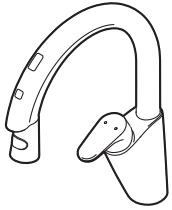
- 下記のものが吐水口下にある場合、感知範囲外でエコセンサーが感知するなど誤作動する場合があります。対象物を避けるかエコセンサーをOFFにして上センサーにてご使用ください。

- ・ステンレス等の鏡面や溜め水
- ・鍋等の底が深いもの
- ・ガラスなどの透明物
- ・鉄のフライパンなど黒い材質のもの
- ・お皿などを積み上げた状態



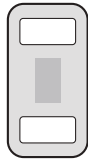
サーモランプの光り方

待ち受け中



ふんわり点滅(水色)

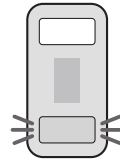
吐水中



点滅(吐水温度に応じた色)

- ・上センサー使用時 上側
- ・エコセンサー使用時 下側

下センサーで1分間連続吐水したときの
自動止水中※1

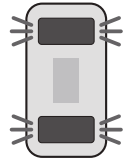
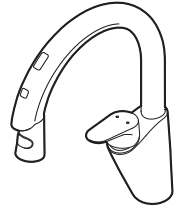


点滅(黄)

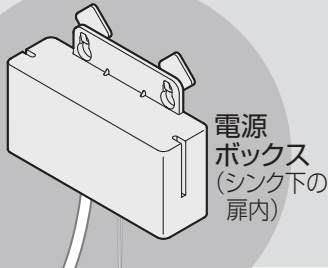
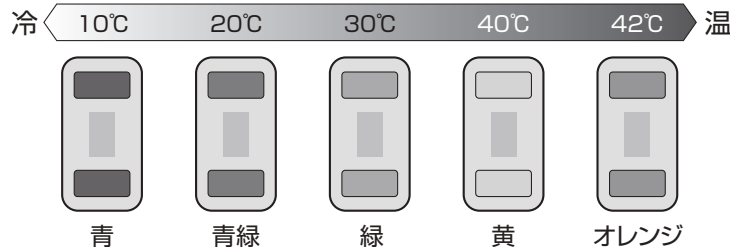
高温止水中※2

警告

やけどのおそれあり



点滅/点灯(赤)※2



電源ボックス
(シンク下の扉内)

※1 水を約1分出し続けると、自動で止まります。(P17)

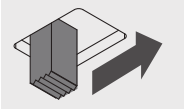
※2 50°C以上のお湯は出ないように設定されています。

高温を検知した場合は、強制的に止水します。(P17)

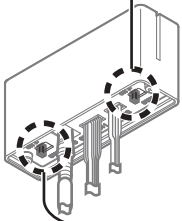
エコセンサーが手などを感知しているときは点滅し、感知していないときは点灯します。

設定を変更するとき

■エコセンサーの感度をさげたい時

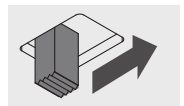


シンクの深さが浅い場合、検知距離を短くしたい場合などに使用。



電源ボックス
(底面)

■待ち受け時に、サーモランプを点滅させたくないとき

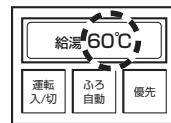


OFFにする



給湯機の給湯温度設定

50~60°Cをおすすめします。
(誤操作などによる、やけど防止のため)



- 設定温度が低いと、温度調整がうまくできないおそれがあります。
(給湯機の設定温度が優先されるため)
- レバーを回しても高温の水が出ないときは、給湯機の給湯温度設定をご確認ください。

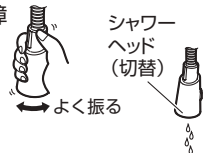
■瞬間式給湯機が着火しないとき

水温の高い夏場は、着火しない場合があります。
→給湯機の温度設定を下げてください。



注意

止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。いつもポタポタ出ているのはハンドルの閉め方がゆるいか水栓のバルブ開閉ユニットが故障しているかのどちらかです。しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動などによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。



シャワーヘッド(切替)

よく振る

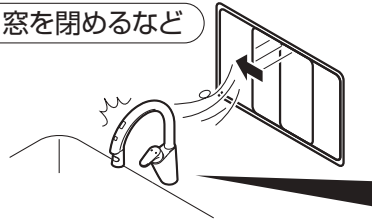
凍結予防について

一般用の場合

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
(右記参照。目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
 - 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

窓を閉めるなど



湯の当たりとクリックの間で出す

当たり湯

クリック



凍結予防について

寒冷地用の場合(水抜方法)

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備(水抜栓)とあわせて使用する製品です。

凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- 2 シャワーホースを引き出せる位置まで引き出します。
- 3 電磁弁の栓棒を時計回りに当たりまで回転させます。
- 4 水抜操作ハンドルをゆるめます。
- 5 レバーを上げ、右側いっぱいに回します。
- 6 レバーを上げたまま、左側いっぱいに回します。
- 7 シャワーヘッドをよく振ります。

7 シャワーヘッドをよく振って水を抜く。



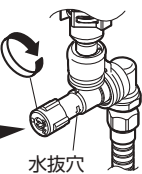
2 シャワーホース

4 水抜操作ハンドルを回す。

奥まで回す。

Open 方向

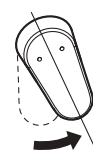
水抜穴



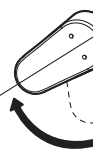
注意

- 水抜部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。
- 水が抜けない場合は、シャワーヘッドを高い位置に持ち上げ、シャワーホースをしっかりと伸ばしてください。

5 レバー



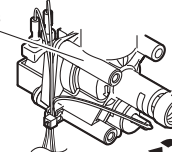
6 レバー



電磁弁

栓棒

3 栓棒時計回り



再使用时

- ① シャワーヘッド・シャワーホースを元の位置に戻します。
- ② レバーを下げます。
- ③ 水抜操作ハンドルを Close 方向に空回りするまで回します。
- ④ 電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回転させます。
- ⑤ 元栓を開けます。
- ⑥ レバーを上げて通水し、水抜穴・各接合部から水漏れがない事を確認してください。

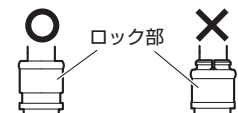
水抜操作ハンドルを Close 方向に空回りするまで回してください。



電磁弁の栓棒 反時計回り

注意

ロック部が確実に上がっている事を確認してください。通水するとニップル部から抜けるおそれがあります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。

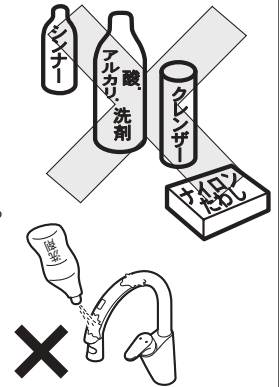
中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。

- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

製品の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

製品の割れや変色変質の原因となります。



【EK870AE-D7N-13の場合】

強くこすると、色落ちしたり、表面素材がはがれるおそれがありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ センサー部の掃除

センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していると、勝手に水が出るなど誤作動することがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 1 止水栓を右に回し、止水します。
- 2 水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取ります。

汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。



拭き取り時にセンサー面に傷をつけないでください。



日頃のお手入れ ストレーナパッキン・吐水口の掃除

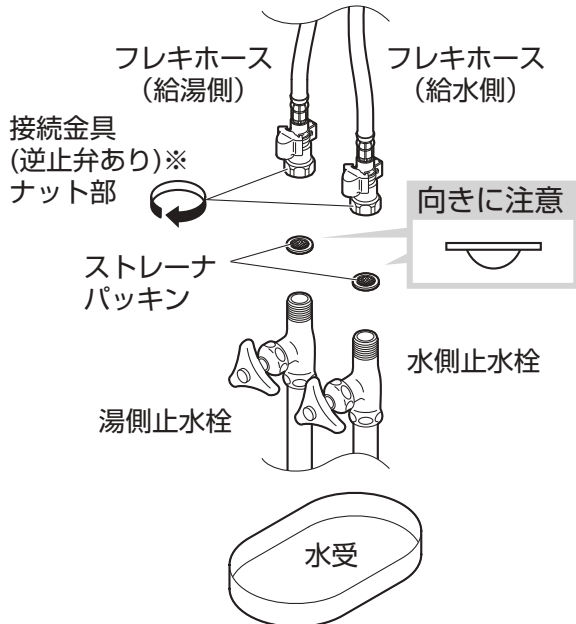
ストレーナパッキン・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓を回し、止水します。
- 2 ■ ストレーナパッキンを掃除する場合 … 水受を用意し、ナット部をはずします。
■ 吐水口を掃除する場合 … シャワーヘッドからストレーナ及び整流器・シャワー板をはずします。

ストレーナパッキンを掃除する場合

注意

- 電源ボックスやコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。
- 湯側配管部は高温になっているおそれがありますのでご注意ください。
- 湯側のナット部をはずす際は、高温の湯が噴き出すおそれがありますので、ご注意ください。
- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。

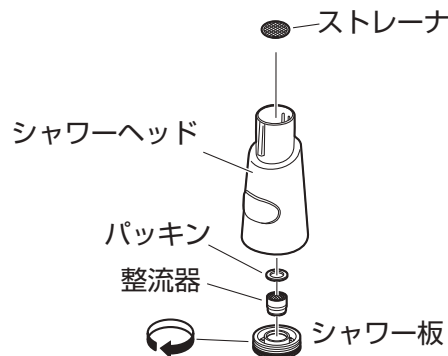


※寒冷地用水側は接続金具(逆止弁なし)になります。

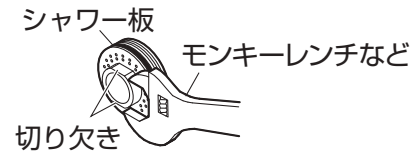
吐水口を掃除する場合

注意

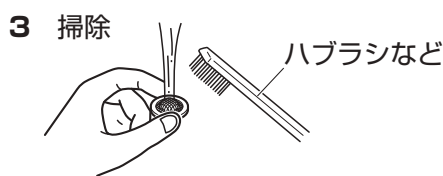
- センサー部に汚れ、傷つかないように注意してください。
- 部品が排水口に落ちないように、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。



モンキーレンチなどでシャワー板の切り欠き部を挟んで、回してください。



- 3 ハブラシなどで網部分・シャワー板を掃除します。



- 3 掃除



掃除後

部品を逆の手順で取付けます。

注意

- ストレーナパッキン、またはパッキンが入っていることを確認してください。
- ストレーナパッキン、またはパッキンの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れの原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

再使用时

- はずした部品が確実に閉まっているか確認してください。
- 止水栓を開いて水漏れ・動作チェックと吐水状態の確認を行ってください。参照：P12

定期的な点検

可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P26)を参照し、修理をご依頼ください。吐水口の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき吐水口を回してください。
(月1回を目安)

吐水口が回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照し、修理をご依頼ください。



日頃から、ときどきシャワーヘッドの切替操作を行ってください。

水あかなどが付着し切替不良発生の原因になります。

切替操作ができなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照し、修理をご依頼ください。

切替ボタン



押して離す

定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタつき・ホコリの除去

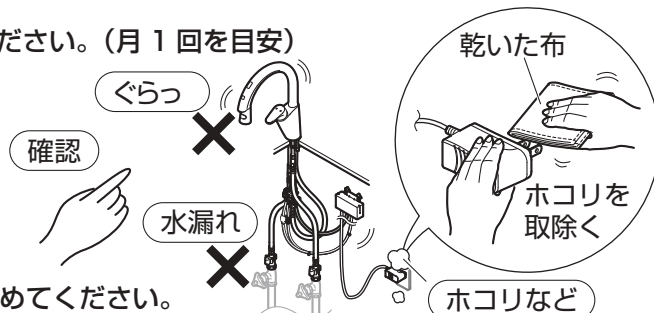
定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的に、器具のガタつきがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

定期的に、ACアダプターについてホコリを取除いてください。(月1回を目安)

ACアダプターの端子にホコリなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布でホコリを取除いてください。



漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照してください。

※仕様により、ACアダプターのデザインが異なる場合があります。

定期的な部品交換

シャワーホース・逆止弁の交換時期

シャワーホースの交換時期の目安：5年

シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーホースの交換

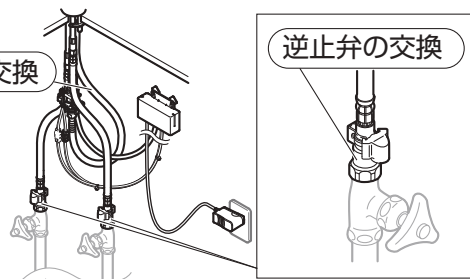
逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※寒冷地用の場合、湯側のみ逆止弁があります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。

※シャワーホース・逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照してください。

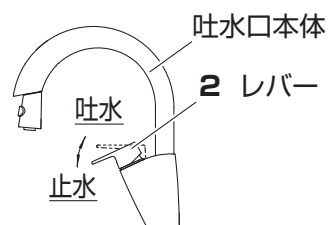
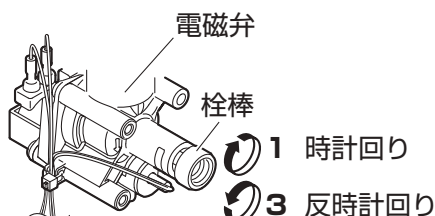


こんなときは

停電時の措置

停電した場合は、下記の措置を行ってください。

- 1 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- 2 レバー操作で吐止水を行ってください。
- 3 停電から復旧した後に、電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)



こんなときは 故障？ その前に


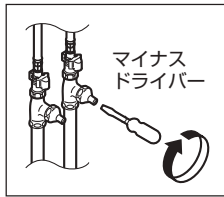

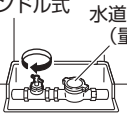
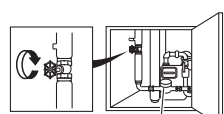
修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

吐水しない		[A]	ACアダプターを確実に差し込んでください。 参照：P11
◇ ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。 → 【A】	◇ ストレーナパッキン・吐水口のゴミづまりはありませんか。 → 【F】	[B]	コード類を確実に差し込んでください。 参照：P11
◇ コード類は確実に接続されていますか。 → 【B】	◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【G】	[C]	止水栓を十分に開いてください。 参照：P12
◇ 止水栓は開いていますか。 → 【C】	◇ センサーの感知エリア内に障害物はありませんか。 → 【H】	[D]	エア抜き作業を行ってください。 参照：P12
◇ 停電中ではありませんか。 → 【D】	◇ サーマロンブが黄色点滅(点灯)していませんか。 → 【I】	[E]	復旧するまで待機してください。
◇ 断水中ではありませんか。 → 【E】		[F]	ストレーナパッキン・吐水口の掃除をしてください。 参照：P21
サーモロンブが黄色点滅している		[G]	センサー部の水滴や汚れを柔らかい布で拭き取ってください。 参照：P20
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【G】		[H]	センサー感知エリア内の障害物を移動してください。 参照：P16
◇ センサーの感知エリア内に障害物はありませんか。 → 【H】		[I]	給湯温度を下げ、温調操作を行い、水栓の温度が下がるのを待ってください。 参照：P17～18
水(湯)が止まらない		[J]	電磁弁の栓棒を反時計回りに閉めてください。 参照：P12
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【G】		[K]	レバーの位置を確認してください。 参照：P17
◇ センサーの感知エリア内に障害物はありませんか。 → 【H】		[L]	給湯機の設定温度・作動を確認してください。 参照：P18
◇ 電磁弁の栓棒が開いていませんか。 → 【J】		[M]	上センサー操作時(吐水時)はエコセンサーでの操作ができません。
流量が少ない		[N]	エコセンサー操作時(吐水時)は上センサーでの操作ができません。
◇ 止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】		[O]	反射物を移動してください。 参照：P17
◇ ストレーナパッキン・吐水口のゴミづまりはありませんか。 → 【F】		[P]	直射日光が入らないようにしてください。 参照：P16
高温しか出ない		[Q]	誤作動の原因となる機器を取り除いてください。 参照：P4
◇ 水側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】		[R]	栓棒操作(時計回りで水を出す・反時計回りで水を止める)を2～3度繰り返して、様子を見てください。 参照：P12
◇ 水側のストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。 → 【F】		[S]	電磁弁ケーブル(白色コネクター)を確実に差し込んでください。 参照：P11
◇ レバーの位置は合っていますか。 → 【K】			
低温しか出ない			
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。 → 【L】			
◇ 湯側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】			
◇ 湯側のストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。 → 【F】			
◇ レバーの位置は合っていますか。 → 【K】			
温度調節がうまくできない			
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。 → 【L】			
◇ 湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【C】			
◇ ストレーナパッキンのゴミづまりはありませんか。 → 【F】			
◇ レバーの位置は合っていますか。 → 【K】			
エコセンサーでの操作ができない			
◇ 上センサーで吐水中ではありませんか。 → 【M】			
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【G】			
◇ サーマロンブが黄色点滅(点灯)していませんか。 → 【I】			
上センサーでの操作ができない			
◇ エコセンサーでの吐水中ではありませんか。 → 【N】			
水(湯)が出たり止まったりを繰り返す(勝手に出る)			
◇ センサーの表面が汚れていたり、水滴や泡が付着していませんか。 → 【G】			
◇ センサーの先に留め水や鏡の様な反射物はありませんか。 → 【O】			
◇ インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。 → 【Q】			
◇ 直射日光が入っていませんか。 → 【P】			
水が出る時、または水が止まる時にドドドッと水が震える			
◇ 電磁弁が震えていませんか。 → 【R】			
吐水中の温度表示が白色点滅している			
◇ 電磁弁ケーブル(白色コネクター)が正しく接続されていますか。 → 【S】			
使い始めからしばらくして、レバーの作動が重く(あるいは軽く)感じる。			
◇ ご使用することで、商品内部の部品がなじんで安定化する現象で、故障ではありません。			

上記の点検を実施されても不具合がなくなる場合は、お手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

漏水した場合の処置

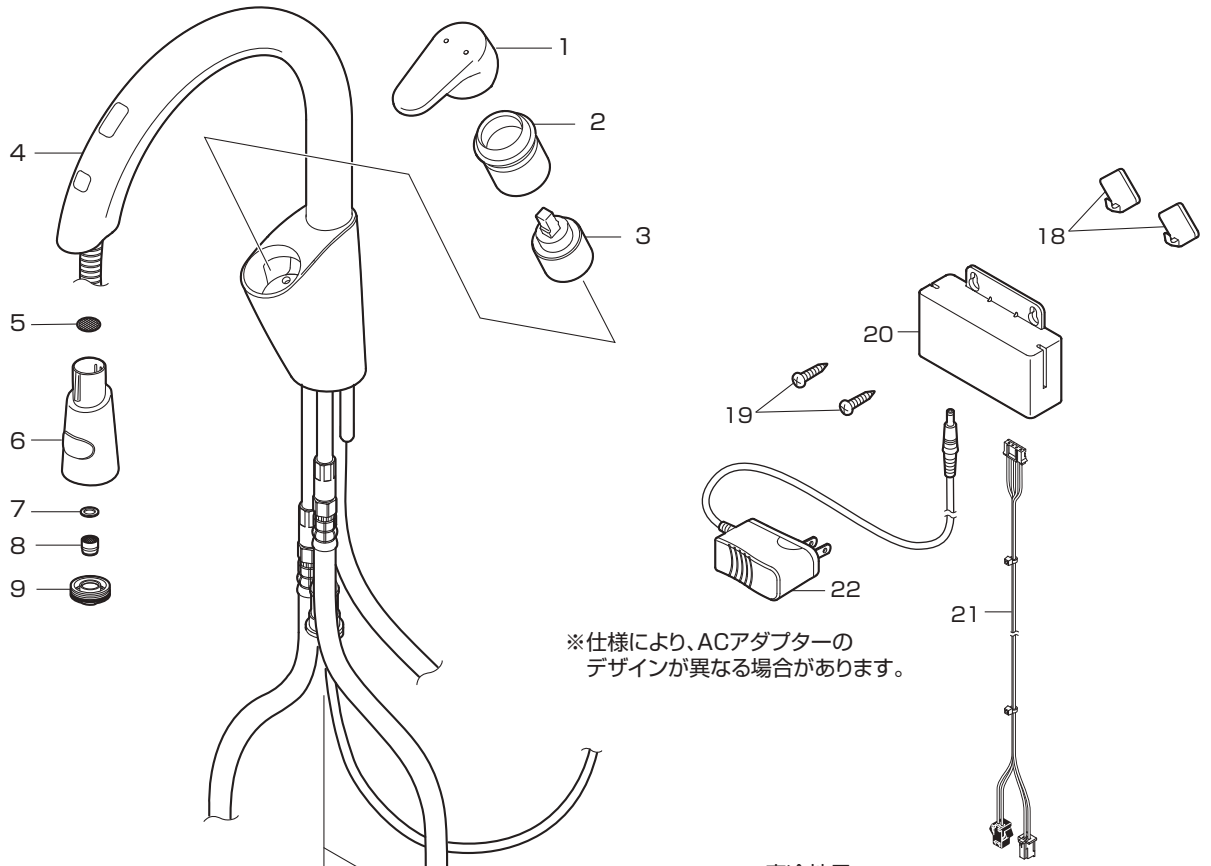
漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方	元栓の閉め方
<p>カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。</p>  <p>マイナスドライバー</p> 	<p>元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※ 閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※ 一部の地域では左まわしの場合があります。 ※ 元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。 <p>■ 戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。</p> <p>● キー式 止水栓キー SANEI品番： PR30A (止水栓キー)</p>  <p>● ハンドル式 水道メーター(量水器)</p>  <p>■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。</p>  <p>水道メーター(量水器)</p>

こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

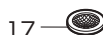
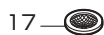
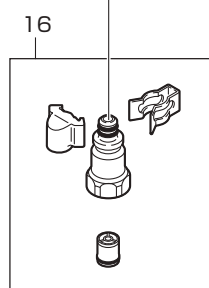
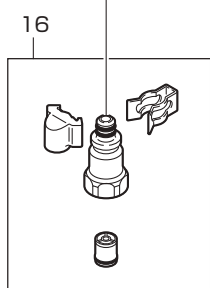
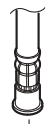
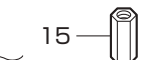
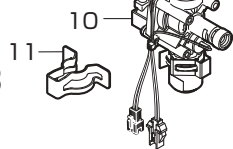
※部品として注文いただける単位のものではありません。



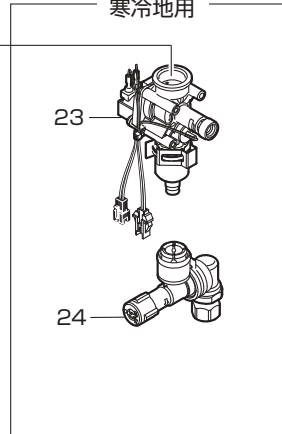
EK870AE-13 EK870AE-D7N-13

一般用

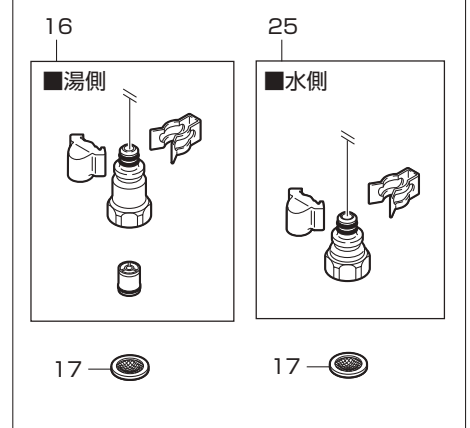
1. レバー
2. カバー
3. シングルカートリッジ
4. 吐水口本体
5. ストレーナ
6. シャワーヘッド(切替)
7. パッキン
8. 整流器
9. シャワー板
10. 電磁弁
11. 異径クイックファスナー
12. 座パッキン
13. 取付パッキン
14. 取付金具
15. 取付ナット
16. 接続金具(逆止弁あり)
17. ストレーナパッキン
18. フック
19. 取付ねじ
20. 電源ボックス
21. 電磁弁ケーブル
22. ACアダプター



寒冷地用



寒冷地用



EK870AEK-13

寒冷地用

23. 電磁弁
24. 水抜きジョイント
25. 接続金具(逆止弁なし)

仕様

型式	EK870AE-13・EK870AE-D7N-13・EK870AEK-13
電源	AC電源 AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時：0.5W 動作時：最大2W
センサー感知距離	【上センサー】約20～50mm 【エコセンサー】約50～150mm
検知時間（間隔）	0.5秒以内
自動止水機能	【上センサー】連続自動吐水してから5分後に、自動的に止水 【エコセンサー】物体を1分間連続感知したとき、自動的に止水
給水部接続	G1/2

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP20～21、定期的な点検についてはP22をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例：電装部品・電磁弁・シングルカートリッジ・逆止弁・シャワーホースなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP24を参照してください。

〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
部品交換の依頼
 - 訪問希望日

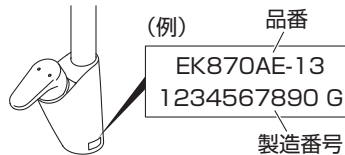
- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには本体右側下部に貼付のシールをご確認ください。



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00～17:30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。				
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)		販売店	店名 住所
	本体	2カ年			
お買上げ日 (お取付け日)		年	月	日	工事店
お客様	名前	様			
	ご住所				
	電話	()	()		電話
		()	()		

見

本

<無料修理規定> ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

- ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
- ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
 受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
 ホームページ www.sanei.ltd